

○吉本議長 通告4番目、13番、奥田富代子議員、一問一答方式で質問をお願いいたします。

奥田富代子議員。

○奥田議員 おはようございます。

13番、奥田富代子です。議長の許可を得ましたので、通告に従い一問一答方式で質問させていただきます。

1つ、いじめ相談について、2点目、公園の健康遊具についての2点で質問させていただきます。

1番目、文部科学省によると、2016年度に全国で32万3,808件のいじめが認知され、過去最多を記録したとのこと。岩出市のいじめ防止基本方針によると、S t o p t h e 3「い」の取り組みを推進するとあります。すなわち、いじめ、いたずら、嫌がらせを早期に見つけ、いじめをなくするという取り組みです。いじめは暴力を伴うものや伴わないもの、インターネット上の不適切な書き込み等、さまざまな形で起こります。

1点目、全国的には後を絶たないいじめですが、岩出市の小中学校においては、年間に何件のいじめが確認されていますか。

学校現場の先生方は、いじめが起こらないように、日ごろから見守り、目配りをし、また、子供たちへの声かけも積極的に行っていると思いますが、授業や学校行事の準備、保護者への対応などで、生徒一人一人と向き合うには時間が足りないのが実情だとの声もあります。

そこで、文部科学省は、いじめ防止対策の推進として、小中学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、配置の充実を進めてきました。

2点目、岩出市では、各小中学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは配置されていますか。

3点目、子供たちが相談したいときは、いつでも相談できる体制になっているのでしょうか。いじめは起こらないように未然に防止するのが最善ですが、起こった場合は、早期発見し、いち早く対応することが重要です。大津市では、2011年10月に、中学2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺したことを受け、いじめ防止の対策を強化しています。

その一環で、小中学生を対象に、いじめに対する意識や行動についてアンケートしたところ、いじめを受けた子供の3割が、誰にも相談せず、深刻ないじめほど1人で抱え込む傾向があることがわかりました。一方、相談すれば、7割は解決に向

かったことも明らかになりました。

大津市では、無料通信アプリのLINEで、いじめの相談を受け付ける事業を試験的に始めました。どうして電話ではなくLINEなのでしょう。それは10代の若者が1日で電話で話をする時間は、LINEなどのSNS利用時間の20分の1程度ということで、若者の間では電話離れが進んでいるからなのです。

この秋、大津市よりも早く、全国に先駆けてLINE相談を試行した長野県では、わずか2週間で1,579件のアクセスがあり、547件の相談に乗ることができました。昨年度、長野県が電話で受けた相談件数が250件だったのに比べ、大幅増となっています。長野県とLINE株式会社が発表した中間報告によると、悩みが深刻な事態に陥ることを回避できたといった成果が報告されています。相談者からは、初めて大人にきちんと悩みを聞いてもらえたとの声も寄せられていたとのこと。

もう1つ、通報アプリ「STOP i t」というのがあります。これは周囲で発生したいじめを被害者や第三者が匿名で報告・通報できるスマートフォン用アプリです。いじめを受けても誰にも相談できないまま、自殺に至るケースもあります。岩出市でも安心して本音を吐露できる、または見かけたいじめを通報できる環境整備が必要と考えます。

たまたま、けさの新聞にあったんですけども、SNS上に相談窓口との見出しで、政府は、19日、自殺やいじめなど、若者、子供のさまざまな悩みをより広く受けとめるためのSNSに力を入れる、また、そのために上限1,000万円の補助を検討していると載っていました。いじめ相談にSNS、LINEや通報アプリを活用することについての考えをお聞かせください。

○吉本議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○秦野教育部長 奥田議員ご質問の1番目、SNSやいじめ通報アプリを活用して、いじめ相談を、についてお答えいたします。

まず、1点目のいじめの件数についてですが、平成28年度の認知件数につきましては、小学校562件、中学校40件です。本年度、11月末現在の認知件数は、小学校371件、中学校20件となっております。

2点目の小中学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは配置されているのかにつきましては、現在、スクールカウンセラーは、小学校には山崎小学校、山崎北小学校、上岩出小学校の3校に2名、この3校に2名と申しますのは、山崎小学校と山崎北小学校には同じスクールカウンセラーが入っておりますの

で、3校に2名ということでございます。

中学校には、それぞれの学校に1名ずつ配置しております。未配置の小学校からの相談にも対応してございます。スクールソーシャルワーカーにつきましては、それぞれの中学校に各1名ずつ配置しており、小学校のケースにも対応しております。

3点目の相談したいときは、いつでも相談できる体制になっているかにつきまして、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつきましては、勤務日や予約状況確認の上、相談していただけます。その他、岩出市青少年センターや教育総務課におきましても、随時相談を行っております。

4点目のSNSや通報アプリを活用して、いじめ相談を受ける考えは、につきましては、現在、一部の自治体などにおいて「いじめ通報アプリ」を試験的に導入していることは認識しておりますが、まずは、学校でいじめの未然防止やいじめ対応を迅速に行えるよう取り組んでまいりたいと考えており、現時点ではSNSやいじめ通報アプリの導入の考えはございません。

以上でございます。

○吉本議長 再質問を許します。

奥田富代子議員。

○奥田議員 平成28年度のいじめ認知件数は、小学校で562件、中学校では40件、本年度11月末の認知件数は、小学校で371件、中学校で20件と、今お聞きしましたが、この数字は多いと思えますが、教育委員会の考えをお聞かせください。

それから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、小学校には3校に2名、中学校には2校に2名配置されていますが、常駐ではありません。いじめを受け、つらいを思いしている子供や、いじめを見かけた子供が、いつでも相談できるよう常駐に向け検討願いたいと思えますが、考えをお聞かせください。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○秦野教育部長 奥田議員の再質問にお答えいたします。

いじめの認知件数が多いように思うが、というご質問でございます。

まず、いじめの定義でございますが、当該児童生徒が、ある一定の人間関係にある者から心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じるものとする。なお、起こった場所は、学校内外を問わないとなっており、されたほうがいじめと感じたものは、全ていじめとカウントしております。

いじめの認知件数が多いということは、いじめに関する感度が高いということ

意味します。本市の認知件数の多くは、嫌なことを言われたや、からかいなどがほとんどです。いじめ問題については、認知したことに對し、解決したか未解決かということが重要となります。本市の多くは、その日のうちに聞き取りを行い、解決してございます。

2点目のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの常駐というお話でございませう。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの果たす役割は大変重要であると考えてございませう。しかし、これらスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、県教育委員会からの派遣となつてございませうので、市としましても、配置校や勤務日数の増加を引き続き県教育委員会に強く働きかけてまいります。

○吉本議長 再々質問を許します。

(なし)

○吉本議長 これで、奥田富代子議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いいたします。

奥田富代子議員。

○奥田議員 岩出市は、年々宅地開発が進み、あちこちに住宅が建設されています。分譲地の一角には公園が設けられ、子供たちが公園で楽しそうに遊ぶ姿や若いお父さん、お母さんが幼い子供を遊ばせているのを見るのは何ともほほ笑ましいものです。

その一方、開発から年月がたち、住民の高齢化が進んできた地域のミニ公園は、当初のにぎわいがなくなり、雑草が目立ち、遊具もさびたり壊れたり老朽化しているのが見受けられます。

若いころは地域で協力して草刈りをしていたが、それができる人がだんだんいなくなつてしまつた。雑草は見た目にも悪いし、虫の発生のもとだから気になるが、体力も気力もないようになってしまつたとの声も聞かれます。

1点目、市では定期的に公園を点検し、壊れた遊具については修理していただいておりますが、岩出市には何カ所の公園があり、どのようなサイクルで点検・修理されているのでしょうか。

2点目、また昨年度、点検・修理にかかった費用をお教えください。

3点目、地域住民の高齢化が進み、遊具が使われることなく、草が伸び放題、荒れ果てた公園について、市はどのように考えておられるのでしょうか。

さぎのせ公園には、子供の遊ぶ遊具以外に、中高年向けの健康遊具が設置されて

います。私もさぎのせ公園で実際に健康遊具を使ってみたところ、背中を伸ばしたり、ぶら下がって足腰を揺すったりして、使った後はすっきりして大変気持ちのいいものでした。

4点目、岩出市では、さぎのせ公園のほかに健康遊具を設置している公園はありますか。

5点目、中高年の健康増進と老化防止、また介護予防に役立つと言われている健康遊具をほかの公園にも設置していただきたいと思いますが、考えをお聞かせください。

○吉本議長 ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 健康遊具で中高年の健康増進と介護予防をの1点目、市には何カ所の公園があり、どのようなサイクルで点検・修理されるのかについてお答えします。

岩出市には、平成29年11月末時点で、都市公園8カ所、農村公園4カ所、団地内公園294カ所の306カ所の公園がございます。

また、公園の遊具につきましては、専門業者による定期点検をその使用頻度により、毎年または3年ごとに実施し、その結果に基づき修繕を行っております。

次に2点目、昨年度において点検修理にかかった費用についてお答えします。

平成28年度に実施しました遊具修繕費用は201万1,597円となっています。

次に3点目、地域住民の高齢化が進み利用されず荒れ果てた公園についての対策についてお答えします。

団地内の小規模な公園の日常管理は、地域の皆様に行っていただくこととなっており、その支援策としまして、管理困難な高木の伐採やペンキ、除草剤等の原材料支給を行っております。また、区自治会長会議において、その周知を図っているところであります。

次に4点目、さぎのせ公園以外に健康遊具を設置している公園についてお答えします。

さぎのせ公園以外では、紀泉台地区の蔵谷公園に設置しております。

次に5点目、さらに健康遊具を普及し、中高年の健康増進と介護予防に生かす考えについてお答えします。

既存公園においては、健康遊具も含め、遊具を新たに設置することは行っておりませんが、経年劣化等により遊具の入れかえを行う場合には、健康遊具も対象として、自治会との協議により設置していく考えであります。

○吉本議長 再質問を許します。

奥田富代子議員。

○奥田議員 健康遊具は、さぎのせ公園のほか、紀泉台の蔵谷公園にも設置している  
とのことですが、市内全体の配置を考えれば、水栖大池公園にも設置していただき  
たいと考えますが、いかがでしょうか。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 ただいまの再質問にお答えします。

水栖大池公園においても、先ほどの回答のとおり、経年劣化等により遊具の入れ  
かえを行う場合には、健康遊具も対象として、近隣自治会等との協議により設置し  
ていく考えであります。

○吉本議長 再々質問を許します。

(なし)

○吉本議長 これで、奥田富代子議員の2番目の質問を終わります。

以上で、奥田富代子議員の一般質問を終わります。